

2025年5月30日

第5次グループ中期経営計画

(2026年3月期～2028年3月期)

第5次グループ中計の位置づけと当社グループが目指すべき姿

2028年に迎える創業100周年、その先の未来に向けて、表面改質技術を通じて社会課題を解決する！

背景

温暖化 海洋汚染
自然災害 人口増加 感染症
地政学リスク 食料・水資源枯渇

Vision2030実現に向けた 種まきと刈り取り

変革への挑戦をスローガンに、
既存事業の深耕、海外事業の拡大、新規分野の開拓
に取り組む！

Vision2030

あらゆる表面を力ガクで変える

表面改質技術を通じて新たな価値を創造し
持続可能な社会の実現に貢献します



地球環境の保全 企業理念 豊かな社会作り



第5次 中計

第4次
中計

第6次
中計

Vision2030

- 1928年に、社員9名で事業を開始
- 1965年に台湾に進出、積極的にグローバル展開を進め、現在では世界12カ国に拠点を設置
- グローバルニッチトップ企業100に選定（2017年）

6つの重要課題

- | | |
|--------------------------|------------------------------|
| 1 表面改質技術による豊かな社会の創出 | 4 多様な価値観を尊重し“力”に変えられる企業文化の醸成 |
| 2 高付加価値の製品・サービスを世界のお客さまに | 5 持続可能な社会の実現に向けた責任ある対応 |
| 3 現場で働く人たちの安心・安全衛生確保 | 6 誠実な企業であり続けるための継続的な取り組み |

企業価値の向上

社会・環境価値

- カーボンニュートラル
- 省資源
- 安心・安全な暮らし

経済価値

- 連結売上高2,000億円
既存分野1,600億円
新規分野 400億円（20%）
- ROE10%以上

目指すべき方向

- 脱炭素などの社会課題解決に貢献する技術の開発
- リージョナル経営の推進と、海外事業の強化
- 新規事業領域の育成と強化、事業ポートフォリオの拡大
- 既存事業の深耕および収益力の強化
- グループ内連携のさらなる強化（薬品・加工・装置・医療）

第4次グループ中期経営計画の振り返り

第4次グループ中期経営計画の振り返り

(単位：百万円)

	A 実績 2025/3	B 目標 2025/3	A-B 差額	
売上高	132,281	130,000	+2,281	達成
薬品	57,616	56,000	+1,616	達成
装置	24,206	20,000	+4,206	達成
加工	47,753	52,000	-4,247	未達成
その他	2,704	2,000	+704	達成
営業利益	14,998	16,900	-1,902	未達成
経常利益	19,936	19,500	+436	達成
営業利益率	11.3%	13%以上	-1.7%	未達成
経常利益率	15.1%	15%以上	+0.1%	達成
ROE	6.9%	8~10%以上	-1.1%	未達成

■ 数値目標の達成状況

- 売上高は、円安効果響もあり、目標を達成できましたが、加工事業においては、自動車生産台数の減少やグローバル競争の激化により、目標を下回しました。
- 営業利益は、加工事業の売上が減少したことや、インフレに伴うコスト上昇分などの影響により、営業利益は目標を下回りました。
- 経常利益は、受取配当金の増加や持分法による投資利益の増加により、目標を達成しました。
- ROEは、配当の増加や自己株式の取得など、株主還元に積極的に取り組みましたが、目標の8%を下回りました。

■ Vision2030実現に向けた基盤づくり

- 2024年7月にパーカー加工株式会社の完全子会社化しました。
- 技術開発力の強化を目的として総合技術研究所（Parker Innovation Center）を建設（2025年4月開所）し、「先端技術研究部」と「コア技術研究部」を設置しました。
- 当社の表面改質技術を用いた医療機器の開発を強化することを目的に、Parker MedTech株式会社を新たに設立することを2025年3月に決定しております。

第5次グループ中期経営計画における課題

グローバルでの競争環境が厳しさを増す中、第5次グループ中期経営計画では、引き続き、既存事業の深耕、海外事業の拡大、新技術の開発、新規分野の開拓に取り組むほか、加工事業の競争力強化に向けた営業力の向上と企業体質の強化が課題と認識しております。

Vision2030実現に向けた取り組み

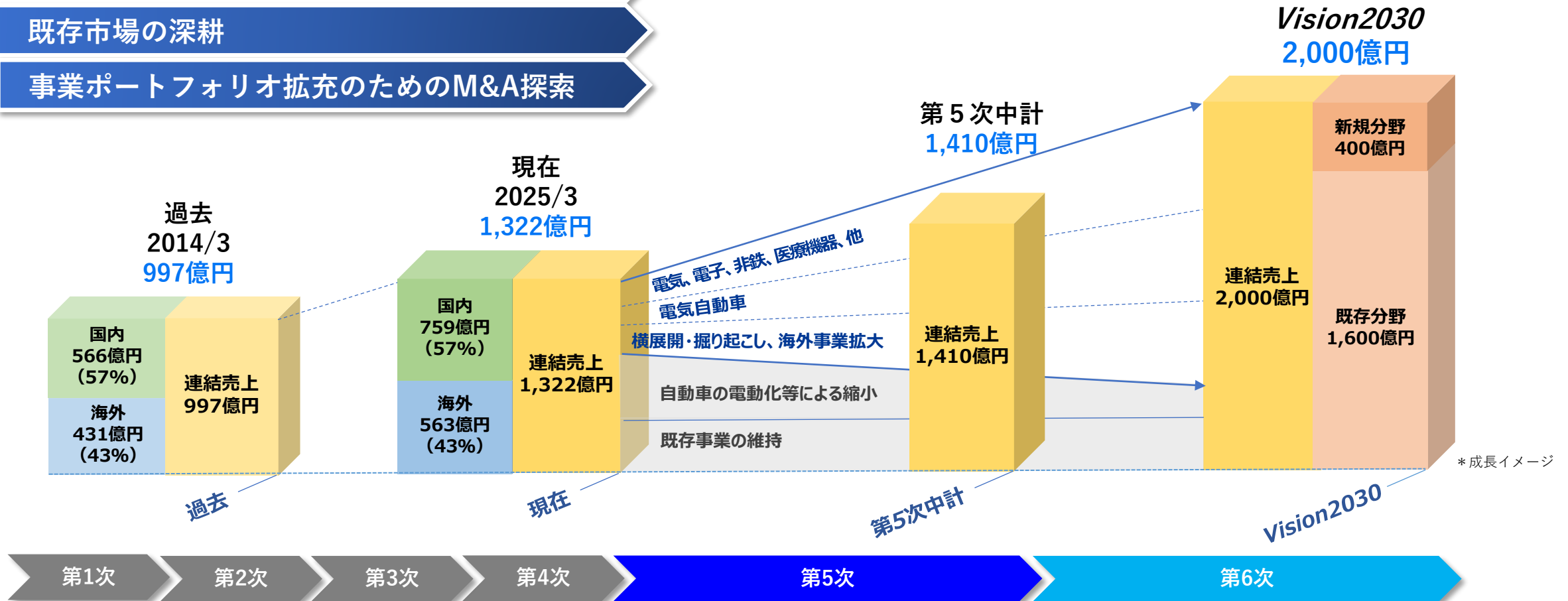
リージョナル経営によるグローバル事業拡大

脱炭素など環境関連のR&Dテーマの拡充

自動車、鉄鋼以外の新規分野の開拓

既存市場の深耕

事業ポートフォリオ拡充のためのM&A探索



変革への挑戦 ～ Challenge for Change ! ～

Vision2030 実現に向けた種まきと刈り取り

リージョナル経営体制の構築	各地域のニーズに適したマーケティングと技術開発の推進による海外事業の拡大。
全社一体となった研究開発の推進	新総合技術研究所と各事業本部が連携し、新技術の開発および新規分野の開拓。
社会課題の解決に貢献する技術開発の推進	カーボンニュートラルや省エネルギーなど、持続可能な社会の実現に向けた技術開発の推進。
オープンイノベーションの推進	企業・大学・研究機関など外部との協業を強化し、社内外の技術やアイデアを積極的に活用することで、新たな価値を創出。
医療機器事業の推進	表面改質技術を使用した医療機器の開発を加速し、医療の発展と健康に貢献。
事業ポートフォリオの拡充	新規市場や新規事業の開拓による収益源の多様化。
グループシナジーの最大化	グループ再編も含めた事業構造改革の推進とグループ会社及び部門間連携の強化（薬品・加工・装置）による総合力向上。

業務改革

業務プロセスの見直し	全社員が変革の意識を持ち、業務改革に積極的に挑戦。
業務の高効率化・高付加価値化	ムダの排除、AIの活用、DX推進により生産性を向上。
業務フローの標準化と最適化	グループ全体で業務プロセスを統一し、効率的な運営を実現。

人材育成

グローバル人材の育成	主体性を持ち、国内外で問題解決や新規事業に果敢に挑戦・推進できる人材を育成。
ダイバーシティの推進	多様な人材が能力を最大限に発揮できる機会を提供することで新たなイノベーションを創出。

経営基盤の強化

持続的成長を支えるグループ経営基盤の確立

3 G の 強化 (Group Global, Governance)

グループ連携の強化によるグループシナジーの最大化

グループ総合力を生かして、社会課題の解決に貢献するソリューションをグローバルに提供

攻めと守りの両面のガバナンス強化による企業価値の向上

安 全 確 保

安全は全てに優先するとの方針のもと、全従業員と協力会社を含むすべての関係者が一体となって安全環境衛生活動を推進し、労災ゼロを実現

当社グループで働く人すべての安全と健康を最優先に考え、安心安全な労働環境の整備し、心と身体
の健康を増進

品 質 向 上

グループ全体で継続的な品質向上に取り組み、顧客満足度を向上

法令・規制要求事項を遵守し、お客さまに安心・安全な製品・サービスを提供

サステナビリティ推進

再生可能エネルギーの導入などによるGHG排出量削減への取り組みの継続と拡大

循環型経済（サーキュラーエコノミー）や自然再興（ネイチャーポジティブ）への取り組み推進

資本効率向上と株主還元

ROE8%以上（長期的には10%以上）

機動的な自己株式の取得も含めた株主還元の向上

暮らしを支える日本パーカライジンググループの技術

日本パーカライジンググループは、技術立社を旨とし、表面改質のスペシャリストとして、物質の表面に多様な機能を付加する表面改質技術の研究開発に取り組んでいます。これにより、薬品、加工、装置、医療などの各分野において、地球環境の保全と豊かな社会作りに貢献します。

表面改質技術を通じた脱炭素社会の実現

摺動性の向上による自動車の燃費向上

熱処理による部品の耐久性向上

防錆処理による素材の耐久性向上

地球環境の保全に貢献

◆省資源

◆高効率・省エネルギー

豊かで健康な暮らしの実現

◆安全性の向上

◆耐久性の向上

暮らしを支える日本パーカライジンググループの技術

街を走る
車にも



ボディを錆から守り、自動車の耐久性を向上させています。

建ち並ぶ
高層ビルにも



免振ゴムの接着性を高め、構造物を地震から守っています。

普段よく見る
アルミ缶にも



缶の表面と塗料との密着性を高め、缶の意匠性を高めています。

身近にある
家電にも



コンプレッサーの潤滑性を向上させ、冷蔵庫の長寿命化に寄与しています。

夜空に輝く
人工衛星にも



真空中でも有効な潤滑剤を開発し、人工衛星に採用されています。

空を飛ぶ
飛行機にも



アルミ表面の耐食性を高め、過酷な飛行環境から機体を守っています。

医療機器にも



防汚処理、親水処理、防曇処理など、医療機器のニーズに合った皮膜を開発しています。

社会課題の解決に貢献する表面改質技術の開発

新・総合技術研究所（*Parker Innovation Center*）を中心にオープンイノベーションを推進

コア技術の発展と先進的発信 & 将来を見据えた研究開発の強化

脱炭素社会の実現に向けた研究開発の探索強化

新研究所での開発体制

脱炭素関連R&Dテーマの推進

材製造時
CO₂の低減

省エネ・高効率

材使用時
CO₂の低減

損失低減・燃費向上

脱炭素の
次世代技術

脱炭素社会の実現
に向けた新規技術開発

表面改質技術
を使用した
医療機器の開発

表面改質技術で
医療の発展と健康に貢献

グローバル開発体制の構築

オープンイノベーションの推進

各リージョンのニーズに適合した迅速な技術開発

脱炭素社会の実現に向けて幅広い調査・基盤研究・PJTへの参画

Vison2030 実現に向けた種まきと刈り取り

第4次中計に引き続き、以下の施策をグループ全体で一丸となって推進

■ 脱炭素社会の実現に向けた取り組み

- 脱炭素社会の実現に向け、環境分野における研究開発テーマの拡大。
- 導電性・絶縁性の付与、耐摩耗性・耐熱性の向上、低歪み熱処理など、EV化に対応した技術の高度化を進めるとともに、異種材料接合など、次世代自動車向け技術の開発にも注力。
- 摺動性や絶縁性の向上、CO₂排出削減、省エネルギーに寄与する表面処理技術の開発。
- SDGsの観点を踏まえ、循環型経済の実現に貢献するリデュース・リユース・リサイクル（3R）技術の開発。
- 異業種との連携による付加価値創出。
- 当社の密着性向上技術などをお客様の原料に適用し、製品価値を高めることで、異業種との協業を積極的に展開。

■ 新規分野の開拓と事業基盤の強化

- 自動車・鉄鋼以外の分野への展開強化
- 半導体、電子・電気、ライフサイエンス（医療機器、化粧品、衣食住など）などの新規分野への進出強化
- 新規事業シーズの探索
- M&Aによる事業ポートフォリオの拡充



EV



電子・電気



医療機器



絶縁性・耐熱性向上



電気メス



抗ウイルス・抗菌スプレー

医療機器事業の育成強化 ～Parker Med Tech 株式会社 の設立～

2025年3月25日ニュースリリース

2025年7月1日を効力発生日として、新設分割により「Parker Med Tech株式会社」を設立する予定です。新会社は、当社の医療機器事業に関する権利義務を承継し、今後、当社保有技術のクラスIV高度管理医療機器への応用を含め、研究開発体制の更なる強化を図ってまいります。

「当社の表面改質技術を使用した医療機器を提供することにより、
世界の患者さんとその関係者の皆さんの幸福を実現する」
を使命に、患者さん、医師双方の負担をより軽減する高機能な製品を開発・提供

		
CHIDORI® 電気メスの刃先の特定箇所に塗装することにより、炭化物付着抑制および温度上昇制御の新たな機能を付与いたしました。	RAIKIRI® 長時間の手術でも手が疲れにくい形状とし、手術中に保持しやすいように、すべり止め加工を行っています。	医療機器向け表面処理 医療機器に対して薬剤を塗布・乾燥させることにより表面にコーティングを形成する。金属、ガラス、セラミックス、樹脂等幅広い素材に適用可能です。

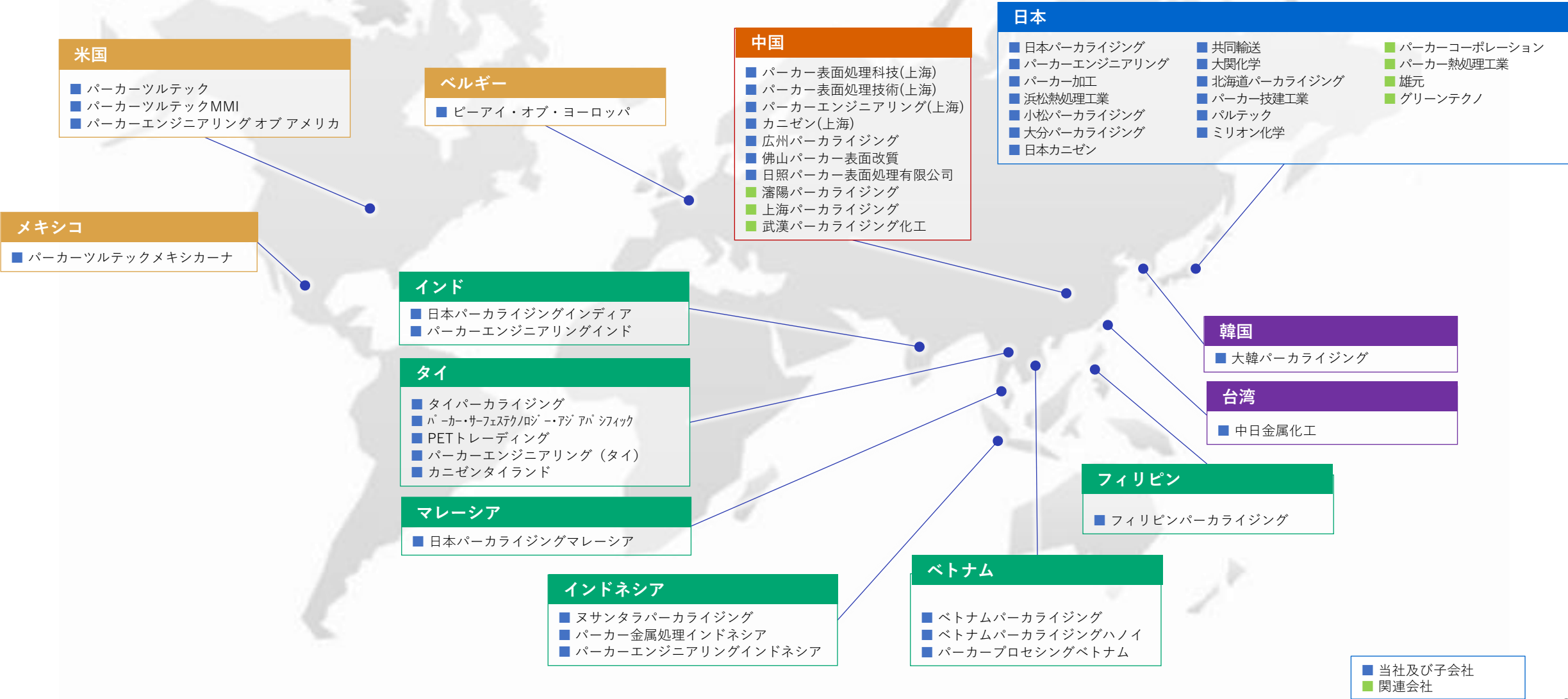
インド・ASEANをはじめとして、
高い経済成長が見込まれる地域において、
地域特性に合わせた戦略を進めることで、
更なる事業拡大とVision2030の達成を目指します！

- 国内外の市場を以下の5つに区分し、地域別に統括責任者を配置
～ ①日本、②インド・ASEAN、③中国、④欧州・北米、⑤韓国・台湾～
- 市場動向を的確にとらえた迅速な意思決定
- マーケットインの視点で、各地域の顧客ニーズを把握し、製品・サービスに反映
- 各リージョンにおける経営目標を明確にすることで、損益管理を強化
- グローバル人材の育成と重用による人的経営力の強化

Think Globally & Act Locally

of, by, and for the Local

グループ連携の強化 × 海外事業拡大



グローバル研究開発体制の強化

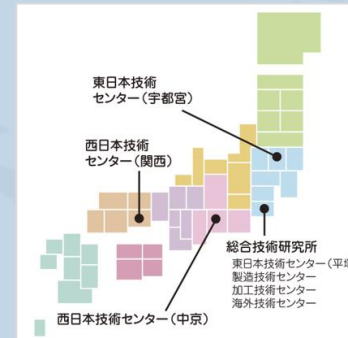
各リージョンのニーズに適合した迅速な技術開発

顧客に密着した技術サポート体制

パーカー表面処理技術(上海)有限公司



- 中国における研究開発拠点として、独自のR&Dテーマを選定
- 表面処理技術に関するコンサルティング及びマーケティングサービスを展開



総合技術研究所の拡張 (2025年4月開所)

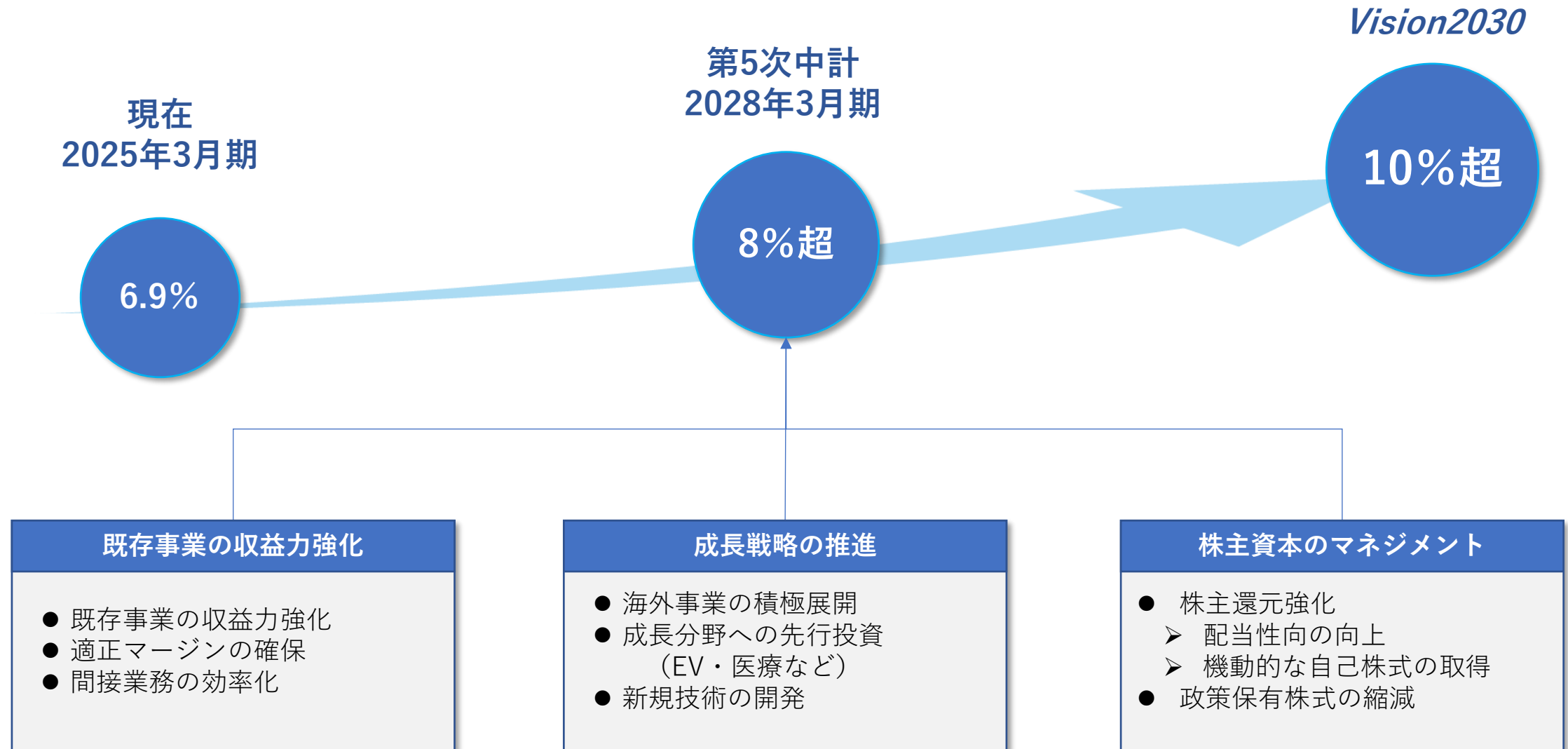
- 国内には技術センターを8拠点を配置し、お客さまにより近い場所でお客さまの要求性能・使用環境に応じた製品開発および技術課題のソリューションを提案
- 総合技術研究所を拡張し、CO2削減など、R&Dテーマの拡充に向けて、最新の分析機器や新たな実験装置を導入

パーカー・サーフェステクノロジー・アジアパシフィック (タイパーカライジング・ヘマラート工場内)



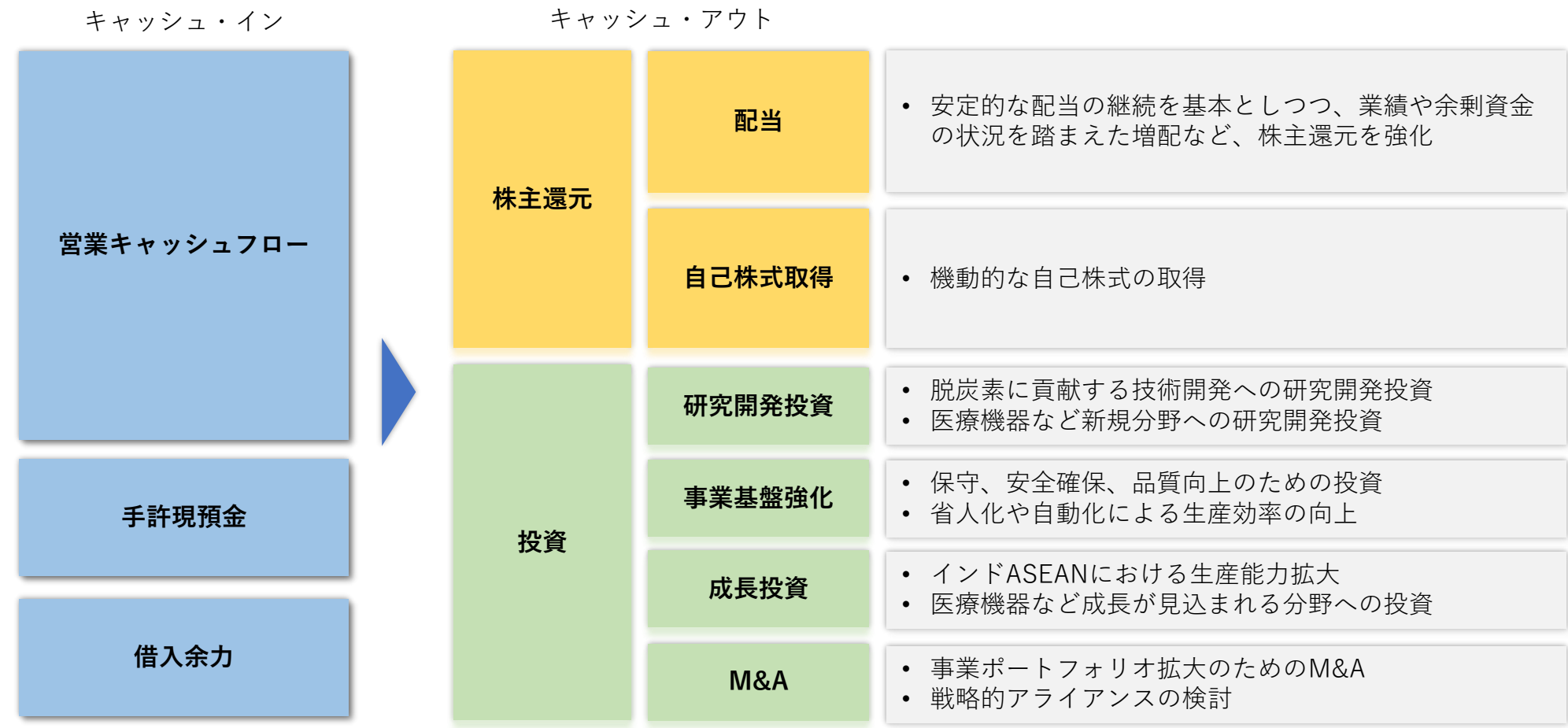
- ASEANにおける開発拠点として、独自のR&Dテーマを選定
- 原料調達、表面処理技術に関する技術コンサルティング及びマーケティングサービスを展開

資本効率とROEの向上に向けた取り組み



キャッシュ・アロケーション方針

既存事業からの安定的なキャッシュフローを維持し、成長投資と株主還元を両立させることを基本方針に、適切なバランスシート管理により、ROE8%以上（長期的には10%）を目指します。



第5次グループ中期経営計画／連結数値目標

(単位：百万円)

		2025/3 実績		2028/3 目標		増減	
		金額	売上比	金額	売上比	金額	比率
売上高	薬品	57,600	-	63,000	-	+5,400	9.4%
	装置	24,200	-	23,000	-	-1,200	-5.0%
	加工	47,700	-	52,000	-	+4,300	9.0%
	他・全社	2,700	-	3,000	-	+300	11.1%
	合計	132,200	-	141,000	-	+8,800	6.7%
営業利益	薬品	10,300	17.9%	11,000	17.5%	+700	6.8%
	装置	700	2.9%	1,000	4.3%	+300	42.9%
	加工	5,000	10.5%	7,000	13.5%	+2,000	40.0%
	他・全社	-1,100	-0.8%	-1,500	-1.1%	-400	36.4%
	合計	14,900	11.3%	17,500	12.4%	+2,600	17.4%
経常利益		19,900	15.1%	21,100	15.0%	+1,200	6.0%
ROE		6.9%	-	(注) 8%以上	-	-	-

注：長期的には10%以上

日本パーカライジング・グループの強み

1928年に創業し、1965年に台湾に進出、その後も積極的にグローバル展開を進め、現在では東南アジア・中国・欧米など12カ国に拠点を設けており、お客さまのニーズに迅速に対応出来る体制を整えております。



**グループ総合力を生かして
社会課題の解決に貢献するソリューションを
グローバルに提供します**

サステナビリティ推進 ～当社グループにとっての重要課題（マテリアリティ）～

持続可能な社会の実現に向けて、重要課題への取り組みをグループ全体で推進

重要課題（マテリアリティ）	当社グループにおける主な取り組み
1 表面改質技術による豊かな社会の創出	●環境に配慮した新製品・新技術の開発 ●表面改質技術を生かした新規分野の開拓 ●外部（企業、大学、研究機関など）との協業によるオープンイノベーションの積極的な推進
2 高付加価値の製品・サービスを世界のお客さまに	●リージョナル経営の推進 ●各地域の顧客ニーズを把握し、製品・サービスに迅速に反映 ●研究開発や生産及び品質管理体制の強化
3 現場で働く人たちの安心・安全衛生確保	●安全衛生環境活動のグループレベルでの推進 ●労働災害及び交通事故ゼロへの取り組み ●危険有害業務の削減や作業環境改善への継続的な取り組み
4 多様な価値観を尊重し“力”に変えられる企業文化の醸成	●女性・障がい者・外国人・中途・シニア等の採用促進 ●女性管理職比率の向上 ●グローバル人材の育成と重用による人的経営力の強化
5 持続可能な社会の実現に向けた責任ある対応	●製品含有化学物質管理の徹底 ●エネルギー原単位削減への継続的な取り組み、グリーン調達方針のサプライヤー100%順守 ●複社購買や事業継続計画(BCP)による安定調達及び安定供給への取り組み推進
6 誠実な企業であり続けるための継続的な取り組み	●グループガバナンス強化に向けた各社重要規程等の標準化 ●コンプライアンスに係る教育と啓発活動へのグループ全体での継続的な取り組み ●全てのステークホルダーとの緊密な関係の構築と協働

持続可能な開発目標(SDGs : Sustainable Development Goals)達成に貢献



企業理念と方針体系

企業理念

Vision 2030

経営基本方針

サステナビリティ基本方針

役職員行動規範

グループ会社行動原則

重要課題（マテリアリティ）

生産性向上

グループ中期経営計画 × リージョン方針
～リージョナル経営の推進～

会社方針（年次方針）
～Vision2030の実現、安全確保と品質向上、人材育成～

各本部方針

CAPDO

3G

Group, Global, Governance

変革への挑戦

Challenge for Change

サステナビリティ

Sustainability

グループ一体となってVision2030 実現に向けた活動を推進

Mission：企業の使命・存在意義

地球上に限りある資源の有効活用を図り、あらゆる素材の表面改質を通じて、資源の新しい価値を創造し、地球環境の保全と豊かな社会作りに貢献します。

Vision：目指すべき理想の姿

表面改質技術を通じて、新たな価値を創造し、持続可能な社会の実現に貢献します。

Value：企業理念と目指すべき姿を実現するための価値観・行動指針

技術立社を旨とし、開かれた社風のもと、公正かつ透明性の高い企業文化の醸成に励み、失敗を恐れず果敢に挑戦する精神を互いに共有し続けます。

マテリアリティ：当社グループが優先的に取り組むべき重要課題

中期経営計画：Visionを達成するための方針・戦略

会社方針：企業理念・Visionなどに基づき、全社的な方向性を示す方針

部門方針：会社方針を実現するために、各部門が独自に設定する運営方針や目標

経営基盤：持続的成長を実現するための経営基盤、考え方・価値観、組織風土

Vision P 2030

あらゆる表面をカガクで変える